

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	電子メディア工学序論	
科目基礎情報							
科目番号	1E004			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子メディア工学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	セ`ロから分かるUNIX基礎講座:中井 猿:技術評論社:9784774139807, 情報リテラシー教科書 Windows 10/Office 2019対応版:矢野 文彦:オーム社:9784274224447, 例題80でしっかり学ぶ`メディアリテラシー標準テキスト `メディアとインターネットを理解するための基礎知識:定平 誠:技術評論社, K-SEC教材, 自作Web教材						
担当教員	布施川 秀紀						
到達目標							
☐ 1.UNIXの操作をすることができる。 ☐ 2.ワープロソフトを使うことできる。 ☐ 3.表計算ソフトを使うことが。 ☐ 4.プレゼンテーションソフトを使うことができる。 ☐ 5.コンピュータネットワークを利活用する上での情報モラル, 情報セキュリティについて理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	UNIXのファイルシステムを理解し、コマンドを使いこなすことができる。			UNIXの基本的なコマンドを使うことができる。		UNIXの基本的なコマンドを使うことができない。	
評価項目2	ワープロソフトを使って、複雑な文書を作成することができる。			ワープロソフトを使って、簡単な文書を作成することができる。		ワープロソフトを使って、文書を作成することができない。	
評価項目3	表計算ソフトを使って、複雑な表を作成することができる。			表計算ソフトを使って、簡単な表を作成することができる。		表計算ソフトを使って、表を作成することができない。	
評価項目4	プレゼンテーションソフトを使って、効果的なスライドを作成することができる。			プレゼンテーションソフトを使って、簡単なスライドを作成することができる。		プレゼンテーションソフトを使って、スライドを作成することができない。	
評価項目5	コンピュータネットワークを利活用する上での情報モラル, 情報セキュリティについて理解し、説明することができる。			コンピュータネットワークを利活用する上での情報モラル, 情報セキュリティについて理解している。		コンピュータネットワークを利活用する上での情報モラル, 情報セキュリティについて理解していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この科目で`は、主にコンピ`ューターリテラシーを扱う。コンピ`ュータの基本的な操作法とUNIX入門、電子メール等をコミュニケーションツール使う上で`の情報モラル, 情報セキュリティ、実験報告書の作成に必要なワープロ`ロや表計算ソフトの使用、卒研発表で`必要なプ`レゼ`ンテーションソフトの使い方を学習する。						
授業の進め方・方法	教科書、自作Webテキスト等を使ってPC画面上で操作方法を説明し、その後実習を行う。また、K-SEC教材も活用する。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	機器の説明,コンピ`ュータへのLogin, 初期設定 コンピュータネットワーク利用における, 情報モラル, 情報セキュリティ (K-SEC教材も活用)		本校の学生用PCへのLogin, 初期設定ができる。 コンピュータネットワーク利用における, 情報モラル, 情報セキュリティについて理解する。		
		2週	コミュニケーションツール (電子メール, Teamsなど) の使い方 コンピュータネットワーク利用における, 情報モラル, 情報セキュリティ (K-SEC教材も活用)		コミュニケーションツール (電子メール, Teamsなど) の使い方理解をする。 コンピュータネットワーク利用における, 情報モラル, 情報セキュリティについて理解する。		
		3週	ワープロ`ロソフト (Word) の使い方1		ワープロソフトで文書を作成することができる。		
		4週	ワープロ`ロ (Word) の使い方2		ワープロソフトで文書を作成することができる。		
		5週	表計算ソフト (Excel) の使い方1		表計算ソフトで簡単な表を作成することができる。		
		6週	表計算ソフト (Excel) の使い方2		表計算ソフトで基本的な関数と使うことができる。		
		7週	表計算ソフト (Excel) の使い方3		表計算ソフトで統計的なデータや計算を行うことができる。		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	プ`レゼ`ンテーションソフト (PowerPoint) の使い方1		プレゼンテーションソフトで簡単なスライドを作成することができる。		
		10週	プ`レゼ`ンテーションソフト (PowerPoint) の使い方2		プレゼンテーションソフトで簡単なスライドを作成することができる。		
		11週	UNIXの基本コマンド1		基本的なUNIXコマンドを使うことができる。		
		12週	UNIXの基本コマンド2		基本的なUNIXコマンドを使うことができる。		
		13週	プログラミング入門1		簡単なソフトウェアを作成する事ができる。		
		14週	期末試験				
		15週	プログラミング入門2		簡単なソフトウェアを作成する事ができる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3	
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	3	
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	3	
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3	
				情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	3	
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	3	
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	3	
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	プログラミング	インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	3	
				与えられた問題に対して、それを解決するためのソースプログラムを記述できる。	2	

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
UNIX	20	10	0	0	0	0	30
ワープロソフト	20	5	0	0	0	0	25
表計算ソフト	10	20	0	0	0	0	30
プレゼンテーションソフト	10	5	0	0	0	0	15